

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	糖尿病患者における合併症重症化予防の評価 (研究倫理委員会承認番号：707)
当院の研究責任者 (所属)	石橋 亮一 (糖尿病・内分泌・代謝内科)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	
本研究の目的	<p>糖尿病は、インスリンの作用不足により様々な合併症を引き起こす疾患です。糖尿病の治療目標は、合併症の発症・伸展の予防であり、良好な血糖コントロールを維持することで長期予後の改善が期待できます。しかしながら、早期の糖尿病であればほとんど症状を表さないため、糖尿病や合併症の存在を自覚しないまま長期間経過することがあります。</p> <p>糖尿病の合併症には、細小血管症である糖尿病網膜症、糖尿病性腎症、糖尿病性神経障害や動脈硬化に起因する大血管症である脳血管障害、冠動脈疾患、末梢動脈疾患があります。また、糖尿病足病変や、感染症、高血圧症、NAFLD・NASH、骨病変、歯周病、認知症も糖尿病合併症と言われています。さらに、高齢者糖尿病患者は糖尿病でない人と比べて、認知症、サルコペニア、フレイル、転倒、うつ、低栄養などの老年症候群を起こしやすいと報告されています。これらの合併症が重症化した場合は、QOL の低下だけでなく、生命予後にも大きく影響します。</p> <p>君津中央病院の糖尿病・内分泌・代謝内科では、2020 年より糖尿病合併症の評価のための外来を開設し、当院かかりつけの患者様意外にも、地域で診療されている先生方からも合併症の評価のための紹</p>

	<p>介を受け入れています。この合併症検査外来では検査だけではなく、体組成を利用し管理栄養士からの食事栄養相談や、フットケア外来で看護師による足のチェックと指導なども行っており、さらに理学療法士による筋力計測も行い、サルコペニアの予防を検討しています。</p> <p>本研究では、合併症の評価を行った患者の身体所見の評価と、多職種による合併症重症化予防介入を行うことで、患者の糖尿病に対する意識や身体所見の変化を明らかにすることを目的としています。</p>
調査データの 該当期間	令和2年4月1日から令和5年3月31日まで
研究の方法 (対象となる方)	君津中央病院 糖尿病・内分泌・代謝内科の外来を受診し、合併症検査を実施した方
研究の方法 (使用する情報)	<p>君津中央病院の糖尿病・内分泌・代謝内科に通院中の方で合併症検査を行った方の合併症検査で取得した以下の検査データを用いて調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 血液検査データ ・ 身体計測 ・ 血圧測定 ・ 胸腰部レントゲン撮影 ・ 心電図検査 ・ 心拍変動検査 ・ 足関節上腕血圧比検査 ・ 体成分分析検査 ・ 腓腹神経伝導速度検査 ・ 骨密度検査 ・ 腹部超音波検査 ・ 頸動脈超音波検査 ・ 神経診察（アキレス腱反射、振動覚検査、触圧覚検査）

資料・情報の他機関への提供	本研究の成果は、試験担当者である石橋らによってまとめられ、令和5年度以降に開催予定の糖尿病に関連する学会で公表される予定である。また同年度内を目処に学術雑誌に公表する予定である。
個人情報の取扱い	試験実施に係る生データを取扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮する。試験の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないようにする。試験の目的以外に、試験で得られた被験者のデータは使用しない。あらかじめ被験者の同意を得ずに、個人情報を取り扱わない
本研究の資金源 (利益相反)	本研究を行うために必要な研究費用は、アンケート調査および日常診療で得られたデータを収集するのみであるため生じない。
お問い合わせ先	君津中央病院 石橋 亮一 (糖尿病・内分泌・代謝内科) 電話 0438-36-1071
備考	本研究申請時(令和5年3月2日現在)はCOVID-19感染拡大期にあたり、患者・スタッフの安全性には十分に配慮して実施時期・実施方法を検討するものとする。